

## 科目の内容（シラバス）

②授業科目名	③必修／選択の別	④単位数	⑤含む必須の教育内容番号	⑥担当教員名	⑦実施形態
教育心理学	必修	2	19・22・26	向居 暁	対面
⑧授業のテーマ及び到達目標	<p>この科目では、教員免許取得を希望する学生を対象にして、児童・生徒の発達や学習過程など教育活動に関わる心理学について、基本的な内容を講述する。将来、教育現場に立つときに必要となる教育心理学の基礎知識を身につけること、また、そのような知識をどのようにして教育活動に生かすことができるかを常に考える態度を身につけることを目標とする。</p> <p>①【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育心理学の基本的な概念や理論を理解し、教育現場における児童・生徒の発達や学習過程を分析できる。</li> <li>・教育心理学の知識を活用して、主体的な学習活動を支える指導法や評価法を選択・実践できる。</li> </ul> <p>②【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育心理学の知識をもとに、教育現場における様々な事例や問題に対して、論理的に考え、自分の意見や判断を明確に表現できる。</li> <li>・教育心理学の知識を応用して、自分の学習や教育活動に関する課題を設定し、それに対する解決策を考案・実行できる。</li> </ul> <p>③【主体性・共同性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育心理学の知識を自分の学習や教育に関する興味や関心に基づいて深めることを目指せる。</li> <li>・教育心理学の知識を他者と共有したり、協力したりすることで、教育に関する社会的な責任や役割を認識できる。</li> </ul>				
⑨授業の概要	<p>授業では、児童・生徒の発達に応じて、性格、知的能力（記憶、思考、学習）、やる気、学習指導と評価など教育活動に関わる心理学についての基本的知識の獲得を目指す。また、特別な学習支援が必要な児童・生徒の学習過程についても、その特徴などを学ぶ。この授業の目標は「心理学による教育方法の充実」である。授業内容を理解すれば、みなさんが今まで学校で学んできた授業やテストの方法、また先生のなにげない一言などにいろいろな意味が隠されていたことに気づくであろう。あくまでも基礎的な内容しか触れられないため、この授業をきっかけに教育に関する心理学に興味をもち、さらに発展した内容を勉強したいと感じ、実行する手助けになればと考える。</p>				
⑩授業計画					
授業回等	各回の授業内容				各回に含む必須の教育内容番号
1	授業ガイダンスー教育心理学とはー				
2	児童・生徒の性格の理解 ー検査法と発達の要因ー				19
3	児童・生徒の知的能力の理解（1） ー知能検査とその利用ー				
4	児童・生徒の知的能力の理解（2） ー創造性と情動知能ー				19
5	学習の基礎 ー褒めることや叱ること、学習の転移ー				
6	学習の動機づけ（1） ー内発的動機づけと外発的動機づけー				19
7	学習の動機づけ（2） ー自己効力感と原因帰属ー				19
8	学習指導法の基礎（1） ー学習指導法の種類と特徴ー				

9	学習指導法の基礎（２）－学習の個人差と適性処遇交互作用－	
10	教育評価（１）－評価基準による分類－	26
11	教育評価（２）－評価時期による分類－	26
12	家庭学習の指導	
13	学業不振の理解と学習支援	
14	教師の適性と教室における人間関係	22
15	まとめ－教育心理学を有効に利用するために－	
16	定期試験	
⑪使用テキスト	配布資料を用いる。	
⑫参考書・参考資料等	<p>主な参考文献は以下の通りである。</p> <p>豊田弘司 編著（2009）「改訂版 教育心理学入門」（小林出版）</p> <p>鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2005）「改訂版 やさしい教育心理学」（有斐閣）</p> <p>森敏昭・青木多寿子・淵上克義 編（2010）「よくわかる学校教育心理学」（ミネルヴァ書房）</p> <p>中澤潤 編（2008）「よくわかる教育心理学」（ミネルヴァ書房）</p> <p>藤田哲也 編著（2007）「絶対に役立つ教育心理学」（ミネルヴァ書房）</p> <p>また、各回ごとの内容に合わせて紹介する。</p>	
⑬同時双方向性の確保 (通信で実施する科目のみ)		
⑭学修課程の管理方法 (通信で実施する科目のみ)		
⑮学生等に対する評価 (評価基準・評価方法等)	<p>上述した①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・共同性について、期末試験（60％）、小テスト（12％ 4回：各3％）、授業課題（事前課題、まとめの課題、感想・質問課題）（28％）の割合で評価する。</p> <p>試験は指定された教室（試験室）内で、80分間、座席指定、学生証呈示で実施する。期末試験の際、「公式 Cheat Sheet」のみ持ち込み可（評価の対象として答案と共に回収する）。その他の教科書・ノート・資料等の持ち込みは不可。期末試験は指定された試験日の授業時間内で実施する。小テストの日程と範囲は、第1回の授業において提示する。授業課題は、Teamsの「課題」で提出すること。</p>	